

【活動事例の紹介】

教室名	市田小ふれあいスクール
-----	-------------

取組内容

(1) おもしろ科学実験教室

6月27日(月)本校理科室にて、3年生から6年生を対象におもしろ科学実験教室を開催した。

「ドライアイスであそぼう」では、ドライアイスの性質を利用して、ロウソクの火を消したり、シャーベットづくりを行ったりして見えない「二酸化炭素」の存在を「見える化」した。また、2月3日(月)には「煮干しの解剖教室」を行い、生き物の体の内部を「見える化」した。自分が他の生き物の命を奪うというハードルが下がり、興味深く活動していた。



【煮干しの解剖教室】

(2) グランドゴルフ教室

9月26日(月)放課後、市田小学校の校庭にて、グランドゴルフ教室を開催した。地域の方を指導者として招聘し、ルールや上達のポイント等をわかりやすく指導していただいた。その後、参加者約20名によるグランドゴルフ大会を実施した。8ホール設定し、全員から「楽しかった」という声を聞くことができた。



【指導者によるポイント解説】



【表彰式の様子】

工夫した点・ポイント

○おもしろ科学実験教室

- ・児童が興味関心をもてるようにテーマを設定した。一人一人が主体的に取り組めるように、材料を十分に用意した。
- ・実験の手順が理解できるようにパワーポイントを作成し、一つ一つ丁寧に手順を確認して進めた。

○グランドゴルフ教室

- ・親子同伴での参加を可能にし、親子でいっしょにプレーすることにより、お互いに教え合ったり励まし合ったりできるようにした。そして、親子や児童同士で共通の話題づくりや思い出づくりのよい機会となった。
- ・教室の後半、グランドゴルフ大会の形式を取り、児童と大人の混合グループで各ホールを回るようにした。表彰式を行い、参加者全員に賞状を授与した。
- ・グランドゴルフを体験するだけでなく、他の参加者とのよりよい交流を図る時間を設定した。「今日は楽しかったな。」「参加してよかったな。」「また、このような機会があったら、参加してみよう。」という気持ちをもてるようにした。

成果・今後の展望

- ・どちらの取組も、参加者が満足して終わることができた。「参加して、大変楽しかった。」「楽しそうなことがあったら、また参加したい。」などの声が多く聞かれた。
- ・参加者の交流が深まり、教え合ったり助け合ったりするなどの場面が多くみられた。
- ・今年度より参加者の負担軽減も考慮し、開催日を本来の放課後である月曜日放課後に設定した。予想以上に参加者が多かったため、今後も工夫しながら運営していきたい。